

## 「現場の声をお聞かせください」

### 「看護記録研修」受講者

- 時間外勤務縮減について：委員会業務や研究などは結局時間外になってしまう。
- 現在療養病棟で働いています。患者数40名ちょっと。医療区分2・3割合が80～90%看護必要度で計算したら21～22%程でした。OP室は胃カメラ・輸血・ケモ等医療依存度も年々高くなってきているようです。夜勤はNS2名の時もありますがNS1名、補助者1名の時もあり終末期の方が数名いるとNSの負担が多くなりスタッフのストレスも大きいと思います。（実際の声あり）法定のスタッフは確保できていますが夜勤NS2名、補助者1名でできるようになってくれたらと願っています。
- クリニック勤務で10数名の患者を日勤・夜勤それぞれ一人で看護している。日勤帯は補佐の看護師と保清や食事介助や処置など一緒に行っているがとうてい一人で終わりそうな業務内容でなく毎日2時間程度残業している。人手が足りないです。
- 現在の職場では結婚や出産を安心してできない。託児所が不十分。今後を考えるとやめるしかないかなと思ってしまう。
- 育児・出産をしやすい環境がどの病院でも整っているといいなと思っています。
- 時間外業務が多い。委員会の仕事など業務外で行っている。休みの日に出勤して行くこともあった。コロナ病棟が作られ、配属されているスタッフも大変だが現在の病棟で働いているスタッフも大変。コロナ病棟にスタッフが行っている分スタッフ数が取られている。スタッフ補充もない。
- 仕事量が多いが働き方改革などで早く仕事を終わらせるように言われているが仕事が終わらないため残業してしまう。休日にも仕事をしなければならず休日もしっかり休めない。仕事量の軽減してほしい。時間内に仕事が終われるような環境づくりをしてほしいです。
- 当院では育児への支援の制度が充実してきましたが人材不足の中ではとても苦しいものがあります。人は増えませんがどんどん現場は厳しくなっています。どうしていけば良いのか。解決できる道はあるのでしょうか。
- 夜勤業務は難しいです。夜勤の人数を増やしてほしいです。
- 地域医療構想の活動のひとつである、患者を地域に帰すことで紹介状持参した患者は急性期での治療が終了したり、診断がついたら紹介医へ戻すということをしないと地域の病院・クリニックが減っていく事は目にみえています。かかりつけ医をつくる事をもっとアピールした急性期病院にいる医師の考え方改革をしてほしいです。
- 病院の方針とは思いますが、55歳以上は1円も昇給がありません。55歳以上は戦力外と強く感じました。若い看護師を大切にの方針が強すぎて、これまで頑張ってきた看護師への思いやりが足りないと感じます。そんな先輩看護師をみて後輩看護師もやりがいが無くなる。長く健康にやりがいをもって働ける職場をめざしてほしい。（かたよりのない全ての病院において）
- 残業しないように自分なりのタイムスケジュールをと思うが、看護計画の評価・日々のうけもちの記録ベッドサイドでの処置・相談事・水分介助・転棟リスクの目の離せない患者の対応・コロナで面接制限ある為、家族との荷物の受け渡し等想定外のことも起きたりして残業がでる。記録物が少なくなると良いです。